

静身会報

発行所
社会福祉法人
静岡県身体障害者福祉会
静岡市葵区駿府町1番70号
電話 054-252-7829
発行 平成22年1月31日
発行人 小林 眞
編集人 菊池 光 男

第82号



新年のごあいさつ

静岡県身体障害者福祉会 会長 小林 眞

新年あけましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、穏やかな新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年は、政権交代、不況の深刻化、地球温暖化など大きなうねりがあり、国民生活もこの先どうなっていくのかが、見えてこない不安に、振り回されました。「新」が歳を表わす漢字になりましたが、本当のチェンジが切望されます。

新政権が障害者施策の柱とする「障がい者総合福祉法（仮称）」の中身を検討する推進会議には、障害当事者も入って、新しい制度のフレームを検討することになっています。

是非とも、障害者の実態を踏まえた施策作りをして頂きたいと願っています。

さて、今年は「寅」歳です。「寅」と言えばフーテンの寅さんが思い出されます。渥美清さんが亡くなって、すでに14年の歳月が過ぎ去りました。当時も自由な生き方の寅さんは、見ていてホッとした記憶があります。今は、あの頃よりも、格差社会と言われ社会全体が窮屈で、明日が見えにくくなっています。もし出来るなら、第2の寅さんが出てきてくれて、私たちに、暖かなものを与えてくれたら、もう少し、気持ちも和むかも知れません。

今年一年も、皆さんと一緒に頑張りたいと存じます。よろしく願いいたします。

皆さんにとって健康で、穏やかな1年でありますように心からお祈り申し上げます。

第9回全国障害者芸術・文化祭、静岡の地で盛大に開催

障害者が日々の生活の中で生み出すエネルギーや文化に触れてもらい、障害者への理解をいっそう深めてもらうことをテーマに開かれている全国障害者芸術・文化祭が第9回を迎え、昨年の11月13日から15日までの3日間、静岡市のグランシップを会場に盛大に開催されました。

今回は、第24回国民文化祭・しずおか2009と同時開催ということで、1週間前に閉幕した国民文化祭の余韻まだ覚めやらぬ11月の開催となりました。

静岡で生まれ育てられてきた障害者芸術・文化を全国へ情報発信する場として、「みる、ふれる、感じる」「再発見、生きる力」を大会のコンセプトとして、ホール一面を使っての工芸・陶芸・造形などの各種作品展示と併せて、障害者が日々の生活のなかで、ぞくぞくと生み出す表現を作品として捉え、来場者にも「ゾクゾク」した感動を体験してもらう「ぞくぞくゾクゾク展」では、家具や家財道具なども作品として、また展示装置として天井に届かんばかりに積み重ねられた光景は、今までにない圧巻であったと言えます。

来場者は3日間で2万人余りに達しました。

フォーラムでは「障害者芸術をどう評価するか」をテーマに、表現とは何かが意見交換され、また「和太鼓の競演」や「ねむの木学園」子どもコンサート、美術品展示、映画祭、授産製品販売など、企画、内容も今までと一味違った新しいチャレンジであったと言えます。

県身体障害者福祉会も、野外ブースで「絵手紙教室」、特設ステージでの「日本舞踊」で祭典に華を添えました。



身障者9団体、県に要望書を提出

毎年、県身体障害者福祉会を中心とした県内の身体障害者団体では、制度や各種改善要望事項をとりまとめ県知事に対して要望書を提出しています。また、昨年11月16日に開催された厚生部長、障害者支援局長との懇談会の席で要望内容の説明をして県に一段の努力を要請しました。部長からは、全国で動き始めている障害者権利条例に関しての勉強会を開催したい旨の話が出されました。



身体障害者9団体

(社)静岡県視覚障害者協会、(社)静岡県聴覚障害者協会、静岡県車椅子友の会、静岡県静鈴会
日本オストミー協会静岡県支部、日本心臓ペースメーカー友の会静岡県支部、NPO静岡県中途失聴・
難聴者協会、静岡県腎友会、(福)静岡県身体障害者福祉会

H21年度身体障害者団体要望

1. 全般的要望事項(骨子)

- (1) 国に対し当事者主義を基本理念とし、これまでの成果を踏まえた法体制の整備をするよう働き掛けていただきたい。
- (2) 「障害者権利条約」の批准に向けた国の国内法整備に合わせて「差別禁止条例」制定の環境づくりを県として進めていただきたい。
- (3) 障害者の雇用環境は一層厳しさを増している、障害者の雇用・就労の促進を図り公共団体における採用枠の拡大に努めていただきたい。
- (4) 会員の高齢化と新規加入者の減少による身体障害者団体の弱体化を防止するため、厳しい財政状況下ではあるが、引続き財政的支援など各種の支援をお願いしたい。

2. 個別要望事項

- (1) エコカー(HV)による交通事故防止対策に取り組んでいただきたい。
- (2) 公共機関が発行する広報紙、各種「お知らせ」には必ずFAX番号を記入し、公共の場では、電光掲示板などにより視覚的情報の提供をしていただきたい。
- (3) 県民に「ろう」障害、「手話」への理解促進、手話通訳者の配置による「いつでもどこでも手話通訳保障」の継続と周知を市町にも徹底をしていただきたい。
- (4) ろう高齢者施設の設置、一般の老人ホームでも、ろう者が安心して共同生活を送れる環境整備をしていただきたい。
- (5) いわゆる「パーキングパーミット制度」の導入にあたり、現在利用している車椅子利用者が不便になることのないよう十分配慮していただきたい。
- (6) 県下市町に対し、コミュニティーバス運行に際しては車椅子でも利用可能な車両の導入と、既存公営住宅のバリアフリー化の促進を働き掛けていただきたい。
- (7) 公共機関の車椅子トイレは男女別々で広めにし、中央に多目的ファミリートイレを設置、また、オストメイト対応トイレの必要箇所の見直しと整備をしていただきたい。
- (8) 喉摘者のビデオやパソコンを活用した訓練方法及び電動式発声機の指導方法の研究への引き続き支援と自助努力を促す成果発表に支援していただきたい。また、医療機関・福祉機関への広報活動と連携を強化し、遠隔地での巡回指導や生活相談を充実させるための支援をお願いしたい。
- (9) 災害等の緊急時におけるストーマ用装具の備蓄及び供給体制の確立を具体化していただきたい。また、オストメイト社会適応訓練事業を継続していただきたい。
- (10) 聴覚障害認定基準を、現行の70dB以上から40dB以上とするデシベルダウンを行い、磁気ループ・FM・赤外線などの補聴援助システムが活用できるように交付制度改善を働きかけていただきたい。
- (11) 障害認定されない軽度・中度難聴者でも医療保険での給付の対象として補聴器(補装具)の早期装用訓練が受けられるよう、交付基準を見直していただきたい。
- (12) 政見放送に字幕(オープンキャプション)・手話を入れて放送していただきたい。
- (13) 要約筆記者養成カリキュラム実施の予算化、奉仕員を要約筆記者へ移行させる補習・研修・認定の事業化をしていただきたい。

- (14) 要約筆記者派遣事業を県下の全市町で実施できるようにしていただきたい。
- (15) 行政、専門医、医師会、患者会からなる「腎疾患総合対策委員会」の設置と、この検討結果に基づく、「腎センター」を設置していただきたい。
- (16) 透析患者の重症化、障害の重複化に伴う要介護透析患者急増に対応するため、医療・福祉両面における在宅サービス及び施設を拡充していただきたい。
- (17) 通院困難な在宅透析患者のためにホームヘルパーの増員、移送支援など、通院介護を保障する体制を確立していただきたい。
- (18) 小規模授産所等が、今後とも地域の社会福祉資源としての役割と公的な事業責任を果たすとともに、障害のある人たちの働く環境の拡大や地域生活の充実に向けた支援機能を発揮していくため、新制度体系に対応した基盤整備を確立するための各種の支援と助成をしていただきたい。

第51回静岡県身体障害者福祉大会

大会は、静岡県知事選挙で川勝平太新知事誕生、衆議院議員選挙で民主党の圧勝など、まさに「チェンジ」の余韻が覚めやらぬ9月11日(金)、県総合福祉会館703会議室に、県内から300人近い人々が集い開催された。

来賓には、県障害者支援局長、県社会福祉協議会会長、県共同募金会常務理事をはじめ、県各健康福祉センター所長、静岡市身体障害者団体連合会長を迎え、第一部の表彰、第二部の事業報告・事業計画、大会決議・大会宣言、第三部では、「静岡盲ろう者友の会」牧田紀子氏の「盲ろう者だって生きる権利があるんだよ」と題しての講演が行われた。

栄えある知事褒章の受賞者、楠正治氏(浜松市)、稲葉滋子氏(富士宮市)、今井みエ子氏(熱海市)の3名の方々には本後県障害者支援局長から賞状と記念品が授与されました。

なお、知事は、今回は新県政発足直後の多忙で欠席となりました。

《栄えある受賞者》

・県知事褒章	3名	・会長特別感謝状	13名
・一般社会人等感謝状	3名、2団体	・役員功労賞	16名
・自立更生表彰	16名	・優良団体表彰	3団体
・信連感謝状	1名		



知事褒章を受賞して

楠 正治

私は幼少の頃から足の病気で、四級の下肢障害者です。少年期には随分つらい悲しい思いもしましたが、自助努力の精神でがんばってきました。足が悪くても、人の世話にならずに生きてゆくには手に職をつけねば駄目だと思い、ハンコ屋の職人になり、技術の習得と研鑽に励み自立を目指しました。爾来六十年近く今日まで障害を抱えながら地域社会の理解と協力を得てやってきました。身障福祉会の仲間との親睦と交流を密にし、社会参加にも努めました。「障害は不便だけれど不幸ではない」と三重苦のヘレン・ケラーの言葉をかみしめて、前向きに頑張っております。

稲葉 滋子

この度、県知事褒章という名誉ある賞を頂きまして大変光栄に存じます。当日は、川勝知事様のお姿に接する事ができなくて大変残念でした。

私は平成元年に相談員の委嘱状を頂き、12年目になります。相談員は身障者の相談にのって、生活の向上やひいては福祉の向上を図るという事になっておりますが、私は本当に相談員の役目を果たしてきたのだろうかと思問自答しております。

私は左眼のみの視力が0.04の弱視者です。視覚障害者の中で、少しでも視力のある私がたとえ端役であっても、皆さんのために動くのが使命と思い、今までやってきました。福祉会の中でもやはり一役員として会長の手助けをしてきたつもりです。

人様のお役に立っていると思える事が私の喜びです。いつまで役が続けられるかわかりませんが、元気でいる間は皆様に励ましていただき、牛の歩みで参りたいと思いますので今後ともよろしくお願い致します。

地域と生きる（ふれあいボランティア活動）

仏教では、よく「生かされている」という言葉が出てきます。

人間は、社会をつくって生きている生き物です、1人では生きてはいけません。

人と人を結びつける言葉にも、絆、ふれあい、愛などさまざまな言葉があり、それぞれに意味を持って私たちの日々の生活の中で、お互いがお互いを必要としていることを確認し「生かされている」ことを知ることができます。

県内の市町の身体障害者福祉会（協会）も、地域の中で、地域とのふれあいを求めて、不自由な体や高齢にも負けないで、ボランティア活動に勤しんでいます。

今回は、裾野市の松本会長のレポートを通して、活動の一端を紹介します。

裾野市中央公園清掃活動

裾野市身体障害者福祉会 会長 松本 夢吉

本年度から春と秋の二回、裾野市中央公園の清掃活動を行っています。

裾野市中央公園は、裾野市の中央で五竜の滝がある閑静な公園で市民の憩いの場所として、子供連れの家族が多く見られる名勝地であります。

私たちはいつも助けてもらうことや支援していただくことが多く、何か地域に役立つことはないかと、役員会で話し合いをもちました。中央公園の清掃活動をして、少しでもきれいにし、地域の皆さんに恩返しすることにしました。



活動内容は、庭園のごみ・空き缶・落ち葉拾い・草取り・草刈り・掃く等で総勢59人で活動しました。けがをしないように、又体調には十分気をつけて、安全に作業をしました。公園の職員には、私たちが作業しやすいように親切にアドバイスしていただきました。

通りかかった入園者から、「ご苦労さん、ありがとう。」と声を掛けていただきました。

その声を聞き、参加した会員それぞれから「このボランティア活動をやってよかったね。」との声があがっていました。

本福祉会は、これからも可能な限り続けていきたいと思えます。

電車の旅にはぜひジパング倶楽部のご利用を

会員資格：1. 身体障害者手帳の交付を受けている方 2. 男性満60歳以上、女性満55歳以上の方

年会費：1,200円（平成22年4月1日より年会費が1,300円に改定されます）

特典：JRの鉄道・航路を片道・往復・連続で201キロ以上利用する場合、特急券・急行券・グリーン券・座席指定券が割引購入できます（201キロ以上の乗車券を購入またはお持ちの場合、指定券類は距離に関係なく割引料金で購入できます）。

※「のぞみ」の特急券・寝台券など一部割引にならない切符や期間があります。割引は年間20回を限度とし、割引率は新規会員の場合1～3回目は2割引、4～20回までは3割引。継続して更新された方は初回から3割引になります。

※平成22年4月1日より年会費が1,300円に改定されます。また、上記会員資格を満たす方であれば、各市町身体障害者福祉会の会員、非会員を問わず申込み可能になります。そのため申込書に各市町福祉会会印の押印は不要になります。

入会・お問い合わせは静岡県身体障害者福祉会までご連絡ください。

電話：054-252-7829 FAX：054-255-2011

ブロックだより

西部ブロック 女性部、みかん狩りとモザイカルチャー見学バス旅行

女性部長 荒川和子

11月16日、総勢69名の参加、御前崎、掛川、磐田市豊岡からそれぞれ集まったバス3台でアミューズ豊田を出発。

初めてのバス旅行で役員の手際も悪く、前日まで「都合が悪くなったので参加できない」、「急に行けるようになったので参加したい」、「雨の日はどうするの?」と大変でした。

予定では御前崎のバスと、愛輪号のみでしたが参加申込が多くなり急遽、磐田市のバスをお借りすることになりました。

当日は心配された天気も良く、和やかに出発!!

まずは細江町のみかん狩り園へ、たわわに実るみかんがいっぱい!!

はさみと袋をめいめい受け取って「さあ、とるぞ。」食べては話し、食べては笑い、袋がはちきれんばかり、2袋(5キロぐらい?)は重い重い!

車椅子でも入れる平らな地面と低木の好条件、「いくつ食べた?私は4つも食べたよ、もうお昼は入らないかも」「あまいね~いくつでも食べられそう」

さあ次は、モザイカルチャーへ。

30分で会場に到着。全員の手帳を集めて入場券を買いに行ったのですが、手帳の数ではなくおのおの手帳を開いて障害と年齢の確認をするので、30分くらい時間をとられました。車椅子の対応も悪く、「人手の多いイベントへの参加は大変だなあ」とつくづく感じました。会場の中は広くて、作品のところにたどり着くまで、だいぶありましたが、やはりテレビで見るのとは違いそれぞれの作品はすばらしい!菊花展も併設されて五重塔もきれいでした。楽しい時間はあっという間に過ぎ2時にはそれぞれのバスに乗り、一日の出来事に花を咲かせながら各地へと帰途につきました。何事もなく無事に終えホッと一息。皆さんお疲れ様でした。



浜松ブロック「やらまいか精神」あふれる 多種多様なブロック行事

浜松市身体障害者福祉協議会事務局長 倉橋千弘

1. ハートフルコンサート (7月11日)
市文化財団主催の「女優山田邦子スター混声合唱団」のハートフルコンサートに協賛、会場のアクト中ホールは満員の盛況で「山田邦子さんのガン体験談や音無美紀子さんと倍賞千恵子さんの歌とトーク」に感動しました。
2. 市施設の視察研修 (9月17日)
浜松市施設の「新設の西部清掃工場や古橋広之進総合水泳場、総合福祉施設のアンサンブル江ノ島や発達医療センター」を視察研修しました。
3. 引佐三町スポーツ大会で勉強 (9月27日)
細江町、引佐町、三ヶ日町の障害者スポーツ大会に参加し汗をかき「競技種目の設定や競技のあり方」を勉強。
4. イオン市野店で黄色いレシート作戦に参加 (10月3日)
「イオンでは毎月11日が黄色いレシートキャンペーン」 7月から参加し9月までに135万円を収集しその1%の1万3500円をゲット。
5. 市と事務局等設置についての協議会発足 (10月9日)
当会の課題である事務局体制確立の協議会が発足。市側より担当が出席し「拠点場所、事務局長人事、財源、委託事業のあり方」について幅広い意見交換。今後は毎月1回の会議を重ね2010年12月までに一定の結論を出すことにしました。
6. モザイカルチャー視察研修 (10月21日)
7. 全国初の稲庭うどんの試食会開催 (11月6日)
8. 第1回健康吹き矢大会開催 (11月22日)
9. 第2回スポーツマージャン大会開催 (1月8日)
10. パソコン教室開講 (11月8日)
11. 細江町「堀越牧場でみかん狩り」 (11月7日)
佐久間支部をはじめとして約120名の会員がみかん狩りに参加。

元気応援フェアに福祉会も参加

10月11日～12日、ツインメッセ静岡で「元気応援フェア」が開催され、延べ37,000人の来場者で賑いました。

福祉ブース13小間・体験コーナー・ステージと今回も職員一同頑張りました。ステージでは、日本車いす連盟静岡県支局の皆さんによる「車いすダンス」を披露。

2日目には、わかふじスポーツ大会から帰ってきたばかりの選手の方々も参加してステージを盛り上げてくれました。

又、ステージ終了後には、体験コーナーに移って観客の方にも一緒に車いすダンスを体験していただきました。

子供たちや障害の持った方など色々な方が車いすダンスに興味を持ち時間の経つのも忘れて楽しんでくれました。

この他に各ブースでは、授産製品販売や福祉機器展示・点字体験など活気に満ち溢れた盛り沢山の元気応援フェアでした。



第18回 山梨県・静岡県身障福祉会交流会

日時：平成21年9月26日（土） 10：30～15：00
 場所：日本盲導犬総合センター 富士花鳥園（富士宮市）
 参加者：静岡県 53名
 山梨県 48名 合計 101名



今回、交流の実をあげる為に参加者には、班別に行動してもらいました。盲導犬のデモンストレーションでは、皆さん、盲導犬の特性に興味をもって聞いて今後どのように対応したらよいのか勉強になったのではないのでしょうか。人数・時間の関係もあって盲導犬の生活棟には行くことが出来なかった為、残念でしたが、昼食を挟みながらの交流では、それぞれの行事や会活動などの意見交換が活発に行われ、参加者から良かったとの言葉を頂きホッとしました。又、午後には富士花鳥園に移動、満開のペゴニアに感嘆の声が上がり、小鳥とのふれあいも日常を忘れさせる和やかな時間となりました。班長さん達のリードで交流会としての形も整い担当県としてほっとしています。「また来年、元気で会いましょう」と本当に打ち解けた交流会になりました。

障害者団体の仲間たち

— 会員みずからバリアフリーチェック・ユニバーサルマップ作成 —

静岡県車椅子友の会 会長 青野全宏

昭和49年3月より発足した静岡県車椅子友の会は、35年の歴史があります。重度障害者の相互の親睦を計り互いに助け合い励ましあって困難を克服し、社会復帰を促進し豊かな福祉社会の建設に努めることを目的として発足しました。



当時は、車いす障害者の自立や社会参加という言葉すらなく、地域の中で孤立して生活することも普通でした。市役所にも車いすが入れるトイレが設置されていない環境ですので、街中バリアだらけの状態でした。

現在は、バリアフリー化も進み当時より整備され、不便さは少なくなってきましたが、情報は少なく、どこに出掛けるにも不安があるのが実情です。当会では県内の民間や公共施設・観光施設などのバリアフリーチェックとユニバーサルマップやマップホームページを作成し情報提供をしています。外に出る機会が少ない障害を持つ人達や高齢者の方に、気軽に自由に外出を楽しんでいただけるような活動を進めていきたいと思っています。

重度障害者が普通に暮らせる静岡県をめざし、障害を活かしながら全ての人に役立つ活動によって、社会に対する役割を果たしていきたいと思っています。

障害者マークについて

【法律に載っているもの】上の二つは道路交通法、ほじょ犬マークは、身体障害者補助犬法に載っています。

マーク	名称・関連機関	マークの意味
	身体障害者標識(障害者マーク)	肢体不自由者が運転する自動車に貼る標識。肢体不自由であることを理由に免許に条件を付されている方。このマークを付けた車両への幅寄せや割り込み行為は禁止されている。 ※表示するように努める。罰則なし!
	各警察署・交通安全協会	
	聴覚障害者標識(聴覚障害者マーク)	聴覚障害者が運転する自動車に貼る標識。聴覚障害のあることを理由に免許に条件を付されている方。このマークを付けた車両への幅寄せや割り込み行為は禁止されている。 ※表示しないと罰則あり!
	各警察署・交通安全協会	
	ほじょ犬マーク	身体障害者補助犬同伴の啓発のためのマーク。公共の施設、交通機関、デパートやスーパー、ホテル、レストランなどの民間施設でも補助犬が同伴できるようになった。
	厚生労働省社会・援護局	

【法的拘束力がないもの】各障害者団体が提唱しているものなど。

マーク	名称・関連機関	マークの意味
	障害者のための国際シンボルマーク	障害のある人々が利用できる建物、公共輸送機関であることを示す世界共通のシンボルマーク。 ※すべての障害者を対象。車いす限定ではない。
	(財)日本障害者リハビリテーション協会	
	聴覚障害者シンボルマーク(国際マーク)	世界ろう連盟(WFD)が定めた世界共通の国際シンボルマーク。定期刊行物・ポスター、ろう者が通訳その他のサービスを受けられる場所でも使用されている。
	世界ろう連盟	
	聴覚障害者シンボルマーク(国内マーク)	聴覚障害の方であることを表すマーク(国内)。 ※聴覚障害の方が自発的に使用するもの。
	(社)全日本難聴者・中途失聴者団体連合会	
	視覚障害のある方を表示する国際マーク	視覚障害を示す世界共通のシンボルマーク。手紙や雑誌の冒頭、あるいは歩行用に自由に使用してよいとされている。
	世界盲人連合	
	オストメイトマーク	人工肛門・人工膀胱を使用している方(オストメイト)のための設備があることを表している。オストメイト対応トイレの入口・案内誘導プレートに表示されている。
	(社)日本オストミー協会	
	ハートプラスマーク	「身体内部に障害をもつ人」を表すマークです。 ※内部障害の方が自発的に使用するもの。
	内部障害・内部疾患者の暮らしについて考えるハート・プラスの会	

※車に車いすマークを貼っているからといって、駐車禁止の場所に車を止めることはできません。

車いすマークは、すべての障害者を対象としたシンボルです。間違えないようにしましょう!

※内閣府の資料から転載

ワイワイガヤガヤバス旅行 三幸協同製作所

三幸協同製作所では、今回も入所利用者、通所利用者の慰労バス旅行が、昨年11月20日（金）に行われました。利用者の意見もあり『富士山静岡空港&掛川花鳥園』と『京都の舞妓さんと昼食&嵐山散策』の2コースに分かれての、日帰りバス旅行となりました。

今年、開港した静岡空港では、残念ながら飛行機は見られませんでした。が、とてもきれいな富士山を眺めることができました。そして、「つま恋」のランチバイキングでお腹がいっぱいになった後は、「掛川花鳥園」に向かいました。たくさんの鳥達とふれあい、花や緑に癒され、楽しく過ごすことができました。

京都コースは、早朝の出発でした。東名、名神高速で4時間、車中では可愛いバスガイドとずっと楽しくワイワイガヤガヤ、京都について「石長松菊園」で舞妓さんの優雅な舞を見ながら昼食を頂きました。舞妓さんと話をしたり記念撮影をするなど、とても貴重な体験が出来ました。次に訪れた嵐山では、山一面の紅葉を楽しみつつも思い思いに買い物にいそしみ、お土産を一杯買い込んでいました。

それぞれに楽しい思い出を残し、「また、明日から頑張ろう」と誰とはなしに声が聞こえてきそうな、充実した一日でした。



文 藝

◎ 俳句

・舟だまり 漁夫は憩いの ^{かんびより}寒日和
沼津市 中野藤枝

【ミニコメント】 昨年、伊豆へ旅した折、漁師さん達が三々五々、暖かな陽だまりの中で寛ぐ姿に、心がホット和んだひとときだった。

・庭隅の ^{かめ}甕うつくしく 良夜かな
御前崎市池新田 久保八重

【ミニコメント】 庭先に、いつもは打ち捨てられている古い甕、丁度お月様がその水面にくっきりと映る美しさに見蕩れました。世の中がこんなふうには、穏やかであれば良いと思った。



◎ 短歌

・住む伊豆と 落葉樹林のちがひるて 新緑ことのほか美しき
河津町 中村保則

【ミニコメント】 他県へ旅行した折、自分の故郷とは異なる森や林の情景を見、感動を覚えた感覚を思い起こして、うたにした。

◎ 川柳

・老夫婦 立つも坐るも どっこいしょ
・流行かぜ ちり紙の紙価 ^{しか}高くする
富士宮市泉町 稲葉定吉

— お詫び —

7月31日発行の静身会報の中の第2回静岡県身体障害者グラウンド・ゴルフ大会（個人戦）で女子の結果の掲載がされておりました。改めて掲載させていただきます。

【結果】

女子 優勝	御前崎市	澤入 こう	46	尚、団体戦の結果につきましては、
2位	島田市	門長 すが	50	12月25日発行の号外・県福社会
3位	天竜支部	鈴木 スズ子	51	HPにて掲載しております。



浜松市 鈴木あや子さん